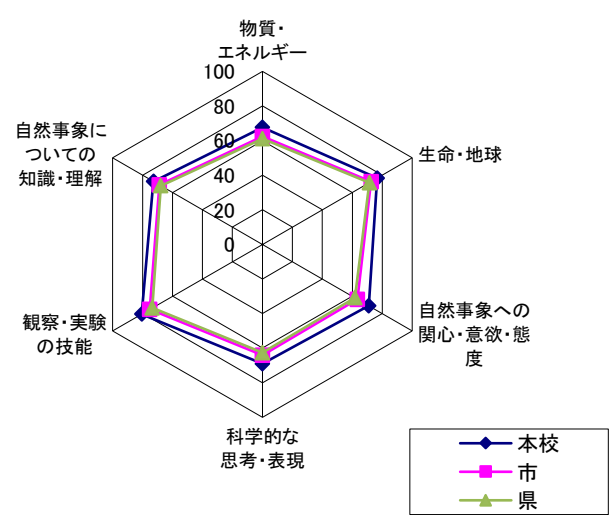


宇都宮市立横川中央小学校 第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	67.6	62.4	61.1
	生命・地球	76.6	72.5	71.4
観点	自然事象への関心・意欲・態度	71.0	63.4	61.7
	科学的な思考・表現	69.0	64.1	62.6
	観察・実験の技能	80.6	75.2	73.5
	自然事象についての知識・理解	72.7	68.8	67.8



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	○物質・エネルギーの平均正答率は67.6%で、県の平均を6.5ポイント上回っている。 ○「物の体積と力」の「空気と水を閉じ込めた注射器のピストンを押すと、どのようになるか推測する」問題の正答率は97.6%で、県の平均を14.8ポイント上回っている。 ○「電気のはたらき」の「おもちゃ内の豆電球が光る仕組みを推測する」問題の正答率は72.0%で、県の平均を18.5ポイント上回っている。 ●「水のすがた」の「水の状態変化について理解している」問題の正答率は25.6%で、県の平均を16.5ポイント下回っている。 ●「電気のはたらき」の「電流について理解している」問題の正答率は45.1%で、県の平均を5.8ポイント下回っている。	・問題の解き直しを行い、復習をする。 ・誤答した児童に対して個別に指導を行い、正しい知識と考え方を定着させる。 ・「物の溶け方」では水の状態変化について十分な復習を行い、既習事項について復習する。 ・「電流の働き」の単元では電流について十分な復習を行い、既習事項についての定着を図る。
生命・地球	○生命・地球の平均正答率は76.6%で、県の平均を5.2ポイント上回っている。 ○「動物のからだのつくりと運動」の「ウサギの背中がまるく曲がる理由を推測する」問題の正答率は89.0%で、県の平均を17.0ポイント上回っている。 ○「自然の中の水」の「蒸発について理解している」問題での平均正答率は81.7%で、県の平均を13.6ポイント上回っている。 ○「天気のようにと気温」の「気温を正しく測ることができる」問題の平均正答率は79.3%で、県の平均を8.3ポイント上回っている。 ●「月と星」の「示された方位から他の方位を推測することができる」問題の正答率は34.1%で、県の平均を2.6ポイント下回っている。	・問題の解き直しを行い、復習をする。 ・誤答した児童に対して個別に指導を行い、正しい知識と考え方を定着させる。 ・「月と星」の学習において正しい知識や理解力を定着させるために、十分な復習を行う。